

特産品化に期待

紀和上人参ジュース試飲会

熊野市紀和町の上川地区で十四日、特産品化を目指し、化学肥料を一切使用せずに栽培した人参をつかったジュースの試飲会があった。参加した住民からは「美味しい」と声を揃え、早速、家でも作ってみたい」と目を輝かせた。

市では、都市出身者が市内集落で地域おこし活動を行う「地域おこし協力隊」の事業を行っているっており、同地区では大阪府松原市から来た村瀬和孝さん(33)が、上川の特産を活かした取り組みを模索。夏場の涼しさや水辺に位置すること、獣害が

比較的小さいこと、休耕地の活用面などから、栽培に適する人参に着目した。村瀬さんは昨年八月二日に着任した。十月から、地域住民から畑を借りて、試験的に化学肥料を一切使用しない無農薬人参を栽培。今月十四日に四種類計

七十五キを初収穫した。市役所上川出張所で行われた試飲会には、住民ら約二十人が来場した。市役所市長公室の谷川清博さんが取り組みの趣旨などを説明。村瀬さんはこの地域に来て八カ月がたちました。自然のバランスを考え地域おこしをしようと思えました。地元のもの食べて

健康になれば」と、人参ジュースの取り組みに期待を込めた。穫れたての人参は市職員や助っ人としてやってきた、市内他地域の地域おこし協力隊のメンバー、江口栄司(波田須)、中西唯満(育生)、外園淳一さん(西山)らが丁寧に水洗いし、ジュース器にかけて搾汁。紙コップに入れて、住民に振る舞った。試飲した参加者からは「自然の甘みがいい」「とろっとしている」などと大好評。中には「家でも人参を栽培してみたい」と話す人や「おいしいけど、長生き

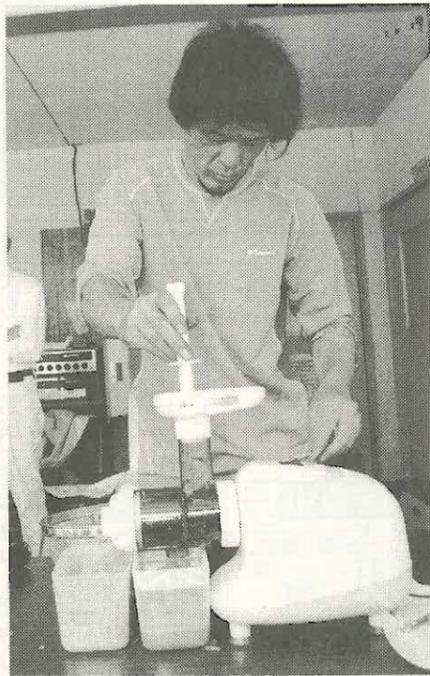
してしまってもええやろか」と冗談を言う人もいた。市では人参の栽培が地域で広がり、ジュースの加工量が増えれば、将来的には滞流荘などでも活用し、特産品化を図りたい考え。



【人参ジュースに舌鼓を打つ住民ら】



【人参を収穫する江口(左)、村瀬さん】



【ジュースを使い搾汁】

若手従業員対象に

熊野商議所 基礎マナー講座

熊野商工会議所は五月二十三日(月)午前十時半から、井戸町のみどりやで新入社員、若手従業員のための基礎マナー講座を開催する。

企業側が行っているマナー指導の補充講座として、社会人としての基本的なマナーの習得を目的に毎年開催しているもの。講師はオフィス・ワン・ツィテンの向原千草代表を招き、午前中は接客対応を午後からはビジネス電話マナーを学ぶ。対象はこの地域の新入社員と若手従業員で

参加費は二千円(昼食代等)。申込み問合わせは五月十六日まで

に同会議所(0597-893435)まで。

スクラッチ杯 北さんが優勝

那智勝浦ゴルフ倶楽部は3、10の両日、平成23年度スクラッチ杯を開催。二十三人が参加し熱戦を繰り広げた。3日は予選、10日は決勝が行われた。決勝では新宮市の北辰久さんと那智勝浦町の内村恵さんが対スコアで並び、プレーオフの結果、北さんが見事優勝した。結果は次の通り(スコアは予選、決勝、合計の順)。

- ①北辰久(72・76・148) ②新宮市③内村恵(74・74・148) ④那智勝浦町⑤山田俊弘(75・74・149) ⑥御浜町⑦夏山恵次(73・80・153) ⑧新宮市⑨向井雅男(79・75・154) ⑩新宮市。

福祉大会と定期総会を

熊野市母子寡婦福祉会、熊野市母子寡婦福祉会定期総会を

会(加子坂とみ子会長)は五月八日(日)午前九時半から、井戸町の文化交流センターで第六回熊野市母子寡婦福祉大会と平成二十三年定期総会を開催する。

鯉のぼりにが 熊野市本町の「きのもと古道通り」の会は、熊野商工会議所屋

☆☆☆☆ 東日本震災でいろんな自粛ムードが出ていますが、被災地の人達も、日本全体が暗く重いムードになるのは望んでいないはず。景気が悪くなれば復興も遅れてしまう。悲し

ており、アップと心に思もありま(木本町) ☆ 桜も終のよう川あたり物に行つ

熊野立が総会 17日、交熊野文内弘会長(日)午後

第546回数字選択式 全国自治宝くじロト6 14日(カッコ内は当選口数)

上に、東口被災者をばり掲げ鯉のぼり東日

にんじんジュース好評

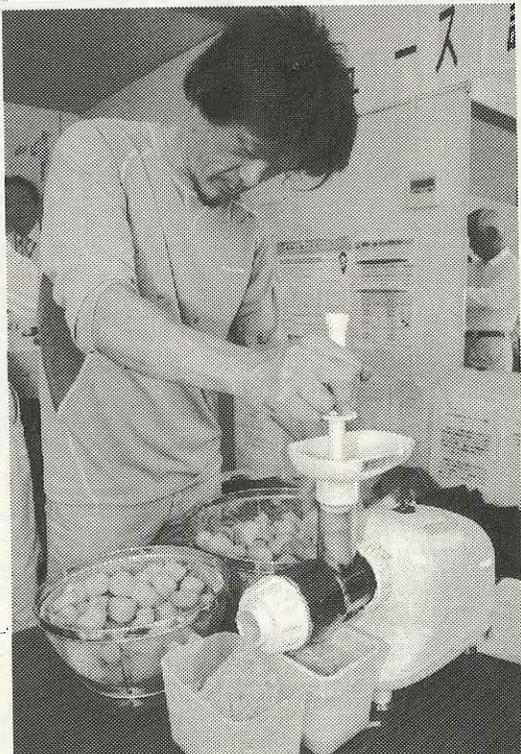
紀和町上川 協力隊の村瀬さんが栽培 で試飲会

熊野市は十四日午
後、同市紀和町の上川
出張所のにんじんジュ
ースの試飲会を行っ
た。都市部出身で市内
の集落で地域おこし活
動する「地域おこし協
力隊」の村瀬和孝さん
(三三)が栽培した無
農薬のにんじんを使用し
たもので、「自然の甘
みがあり美味しい」な
どと好評だった。

上川地区の協力隊村
瀬さんが、将来の地域
特産品化を目指して昨
年十月から試験的に科
学肥料を一切使わず栽
培を開始。もみ殻や鶏
糞を活用するなど、試
行錯誤の末、このほ
ど、初収穫に至った。

同地区は、気候条件
が栽培に適しており、
獣害被害が比較的少な
いことから、にんじん
を選んだ。休耕地の有
効活用にも役立ち、今
後、本格的に栽培する
予定だという。

同隊の江口栄司、中
西唯満、外園淳一さん
も協力し、約一アール
の畑で四種類のにんじ
ん七五時を収穫した。
試飲会には地元住民
ら三十人が参加。にん
じんの味をそのまま菜
しめ、ビタミン、酸素

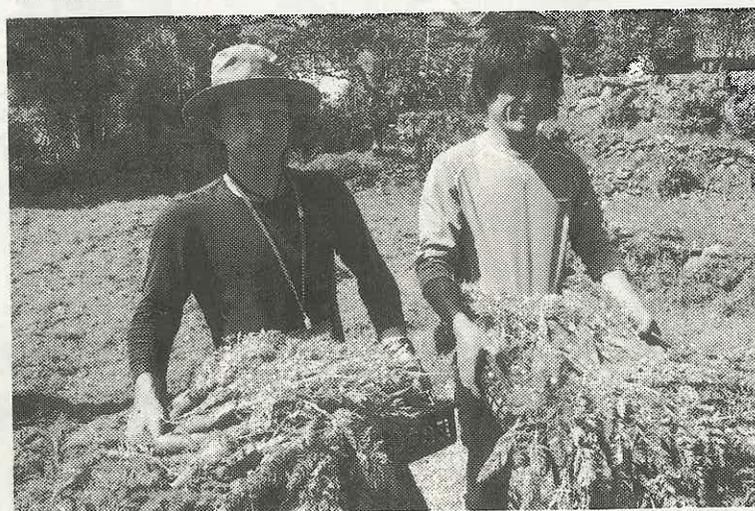


無農薬の新鮮にんじんをジュースでジュースに

熊野川水系が流れ、夏
は涼しく、冬も暖か
い。にんじんを育てる
条件が揃っており、自
然に近い状態にこだわ
った。美味しく健康
に良いジュースを飲ん
でほしかった」と話し
ていた。
にんじんはベータカ
ロチンを多く含み、が
んや脳卒中、生活習慣
病の原因となる活性酸
素を抑える効果があ
る。



にんじんジュースを試飲する上川の住民



村瀬さん(右)が育てたにんじんを収穫

チューリップきれい

紀宝町鵜殿の花壇 うどの地区花づくりグループ

紀宝町鵜殿の鵜殿駅
前花壇でチューリップ
やヒオラ、ノースポー
ルなど色とりどりの花
が咲き、道行く人たち
の心を和ませている。
うどの地区花づくり
グループ(太田芳男代
表)が管理する花壇
で、昨年十一月に改修
した際に記念植樹した
花が咲いた。

同グループは、緑豊
かなまちとすることを
目的に、旧鵜殿村の花
壇で、昨年十一月に改修
した際に記念植樹した
花が咲いた。

毎日自転車で通ると
いう女性は「この花
壇はいつもきれいな花
が咲く。通るのが楽し
みですね」と話して
くれた。

熊野古道ツ
アーの日程
東紀州観光まちづく
り公社は十五日、熊野
古道ツアーの予定を次
の通り発表した。
▼十六日 JTB 旅

熊野市紀和町
上川地区

地域おこしの種になるか

ニンジンジュース試飲会



低回転ミキサーで
ニンジンをしぼる村瀬さん

がよく比較的暖かい気候にあっており、路地で年2回の収穫ができること、管理が容易で休耕地の活用に適していること、獣害に比較的強いことなどがよく、管

川地区の、夏には涼しい風が吹き、冬は日当たり

などから、ニンジンの栽培、ジュース作りを提案

三重県熊野市紀和町上川地区で14日、ニンジンジュースの試飲会があり、地区住民約30人が、無農薬栽培したニンジン100%のジュースを飲んで、地域おこしについて交流を深めた。

市が採用した地域おこし協力隊員、村瀬和孝さん(33)が約1畝の畑で栽培した。村瀬さんは大阪府出身、千葉県で農業に従事していた。昨年8月、若者が過疎集落に入り、住民とともに地域にあった活性化策を検討、実行して地域力を維持、向上させる、同隊員として赴任。住民として暮らし、また、地域の高齢者などから話を聞いて、活性化の方向性を考えてきた。



こくのあるジュースを試飲する住民

村瀬さんによると、上

「えぐみもなくおいしい」「牛乳みたいなところがある」などと味については好評。「レモン果汁を入れればいいのでは」などと話した。一方で栽培について「ニンジンはその好作物。場所によってはしっかりと対策が必要」「集落の仲間がいるならともかく、一人では難しい」などの声もあった。また、搾りかすの活用も課題とされた。

オーブンガ

新宮市蓬

新宮市蓬萊の平田勝男さん(67)宅の庭がオーブンガーデンとして多くの人が訪れ、評判になっていく。妻の裕子さんが庭の花の世話

